いつも身近な存在でありたいと思っています

会宝通信 ~KAIHO Communication~

第267号
発行日 2024年3月1日発行

2月17日 第26回 感謝の集い

皆さんこんにちは、社長の近藤です。2月17日に第26回目となる「感謝の集い」を開催しました。

しかし1月上旬には「感謝の集い」自体の中止やオンラインのみの開催なども考えていました。なぜならば、今年の元旦に能登半島地震があり、石川県では多くの方が被災されたからです。

このような状況で開催しても良いものかと悩み、年初の役員会で議論すると、他の役員から「こんな時だからこそ、元気な姿を見せませんか」という意見がありました。

そこで開催を決意したのですが、懇親会では乾杯というムードではないので、お酒の提供はやめようということも併せて決めました。

しかし、このお酒に関しても開催前日の役員会で方針を180度変えました。「遠方から来られるお客様は、お酒の席を楽しみにしているのではないか」そして「能登のお酒をみんなで味わうことが、1つの復興支援になるのではないか」という考えのもと、急遽懇親会でお酒を提供することにしました。

こんな紆余曲折があった開催前ですが、通常通りお客様を金沢にお招きするスタイルで開催して本当に良かったです。

今回の感謝の集いでは、当社の経営方針発表の後に楢崎浩一様（SOMPOホールディングス株式会社デジタル事業オーナー執行役専務 Palantir Technologies Japan 代表取締役CEO）に講話をお願い致しました。自動車業界の未来にフォーカスされたお話はとても勉強になりました。

また懇親会では自主制作の映画発表や、当社のイメージソングを全社員で披露するなど盛りだくさんの内容となりました。合計266名の方（ご来場234名、オンライン参加32名）に当社の取り組みや今期の方針をお伝えすることができて本当に良かったです。

コロナ禍のおかげでオンラインの利便性を感じていますが、やはり直接お会いして、目を見て感謝を伝えることの価値を再認識することができました。お忙しい中、ご参加いただいた皆さま、改めてお礼を申し上げます。

お客様がいて下さることで、私たちも事業を続けていくことができます。その感謝の気持ちを忘れずに、これからも社員と共に取り組んで参ります。

キラリと光る存在に

●今月の出番 ●
国内業務部
西上耕の介さん

皆様、こんにちは。私は西上耕の介と申します。昨年7月に入社し、現在は国内業務部車輌営業課にてお仕事をさせていただいています。身長185cm、現在25歳です。私は主に個人のお客様や業者様への廃車引取業務、また国内部品課で車輌の部品生産などを担当しております。車が大好きで新たな知識が増えていく毎日はとても楽しいです。以前は建設業にて職人の見習いを6年間やっていました。それまでの10人規模の小さな会社から、グループ合計で100人以上もいる大きな会社へ転職することは、緊張や不安がありました。社員の皆さんは本当に優しく、自ら声をかけてくださり徐々に馴染むことができました。

週末はドライブに出かけたり、冬はスノーボードに打ち込んでいます。社員の皆さんとも趣味を通じて部署問わず関わることができ仲の良い会社だと感じました。これからも安全第一を意識し、尚且つ効率よく動けるように頑張ります。宜しくお願い致します！

農業の取り組み ～農業事業部より～

皆様こんにちは。２月は例年まれにみるほど暖かくて晴れの日が多く、おかげさまでトマト・葉物野菜の成長が良く、嬉しい限りです。雪もほぼ降らなかったので、施設・露地栽培をしている私たちにとってはありがたいことです。

２月はついにトマトの収穫が開始され、糖度もこの時期であれば十二分なくらいで写真の通り１０．２を記録し、平均でも糖度１０前後をキープしています。３月以降さらに気候が良くなってくると、例年通り糖度１５程度にまで達します。３月からは出荷量も増えてきますので、より多くのお客様にご提供できます。この機会にぜひご賞味くださいませ。葉物野菜もほうれん草・リーフレタス・小松菜・水菜を栽培中で３月末ごろまで販売予定です。

３月からはトマトの収穫がメインとなります。各ハウスでの収穫をしつつ、遅れのないように栽培管理を進めます。ようやく始まったトマトの収穫、少しでも多く・長く収穫し、皆様に長い期間食べていただけるように頑張ります。

（担当：畠中）

会宝農園の野菜はこちらのサイトからご購入いただけます。

社員海外レポート

こんにちは。Kaiho Middle Eastの畳谷です。KMEの社員に誘われて、ドバイ・ワールド・トレード・センターで行われた、JAPAN KYOTO TRADE EXHIBITIONに行ってきました。これは京都府とドバイの経済観光省（DET）が共同で主催するイベントで、UAEと日本の二国間貿易関係を強化することを目的としています。日本の食文化や伝統工芸品、健康サプリ、アニメなど多様な産業分野に触れることができ、日本の文化や技術を海外でどのように広めていくのかを学ぶことができました。このイベントに参加し、日本車かアニメにしか興味がないと思っていたKMEの社員が、書道や漆塗りに興味を持つ様子は感慨深いものでした。最近では、日本の着物生地を用いたアバヤというイスラミックな民族衣装が密かに流行っているそうです。日本で大切にされている文化が、海外の文化と融合するというのは素晴らしいですね。私もいま以上に日本の商材をUAEの拠点から広げていけるよう努めて参ります。

輸出最新情報

●2月のコンテナスペース不足は軽微

中国の旧正月による影響が懸念されましたが、幸いにも日本では大きな影響はありませんでした。

●世界3位の自動車メーカー、現代起亜の中古部品の需要動向

国内では需要が低い韓国の中古部品ですが、国際市場では現代起亜はトヨタ・VWに次ぐ第3位のシェア。近年ではアフリカ諸国でも需要が急増しています。当社では2023年に韓国のリサイクル業社と提携し、韓国OEMの中古部品の供給を開始しました。韓国OEM商材の需要がありましたらぜひご連絡ください。

●イスラム教徒のラマダンが相場に影響

この期間中は国内にいるイスラム教徒のバイヤーの一時帰国により、相場に影響が出ます。

ちなみに今年のラマダンは3月10日～4月8日です。（担当：橋本）

今月のパチリ

こんにちは。他のコーナーでも触れていますが、先月17日に第26回感謝の集いを行いました。感謝の集いは3部構成で、第1部は経営方針説明会、第2部は記念講演会、第3部は懇親会です。懇親会では、社員表彰を行ったり、当社が自主制作した映画「つながるおもい」を披露したりと、賑やかかつ和やかで、笑顔あふれる会となりました。

また、懇親会の最後には当社のイメージソング「Everything_is_treasure」を社員全員で輪になって歌うというサプライズも。この楽曲を作ってくださったコーラスユニットVox of Joyさんも会場に駆けつけてくださり、一緒に歌って盛り上がりました。

Everything_is_treasureの歌詞には「困難な状況でもあきらめなければ道は開ける。仲間とともに新しい世界を作ろう。」というメッセージが込められています。今回参加してくださった260名を超える方々と素晴らしい時間を共有できたことを感謝し、皆様とともにより良い世界を創っていきたいと感じた、そんな一日となりました。（担当：川村）

相場情報　～生産部より～

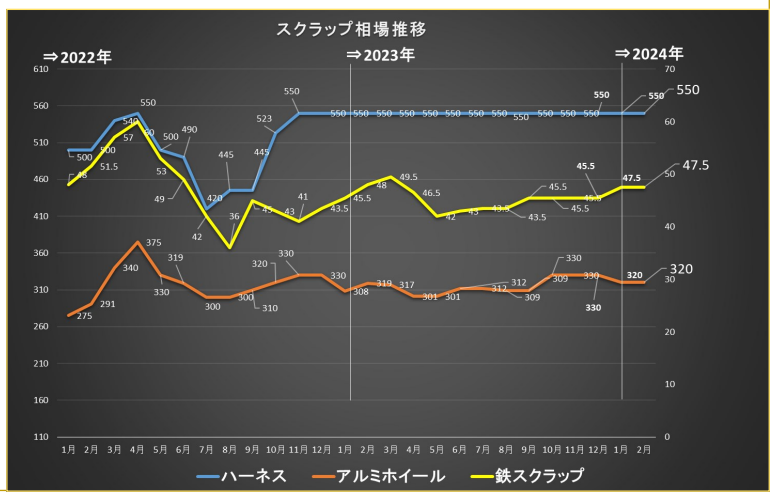
2024年2月　見込み台数	
入庫台数	700台
処理台数	570台

こんにちは、会宝産業の山口です。厳しい寒さも緩み、春を感じられる日も多くなってきましたね。

さて、相場に関してですが・・・毎年の事なのですが、春節（旧正月）前後には相場が動きづらくなります。今年は２月１０日～１７日までが春節でしたが、鉄、非鉄ともに相場は横ばいの推移となりました。

為替も円安に振れているため、鉄や銅の相場は保たれていますが、需給に関しては低い状態との事です。

そんな中、アルミに関しては物不足が深刻な状態が続いているせいで、春節明けから更に高値に動きそうだというニュースも見聞きされます。当面は需給と為替の両面を把握していく事が必要となりそうですね。



今月のトピックス　～　第32回 KRA勉強会　～

2月16日に、32回目となるKRA勉強会を金沢駅前で開催いたしました。翌日に「感謝の集い」があるということもあり、合計48名（ご来場：23名 / オンライン25名）の方にご参加いただきました。

今回のテーマは「管理の利益がもたらす収益アップ」でした。私たちのメインの仕事は、お金を払って車を買いその車から使える部品を外し、部品を販売していきます。だから、目の前の車からどれくらいの売上が見込めるかを把握して、車を買ってこなければいけません。さらに部品取りにかかる工数も事前に計算し、経費を予測することも大切です。

このように数値を管理することは本来当たり前のことなのですが、この管理が自動車リサイクル業では難しいのです。そこで今回は、当社のシステムの活用方法や事例を交えて情報提供をさせていただきました。

私たちはKRAメンバーの皆さまに喜ばれることで、初めて存在価値が生まれます。そのことを忘れずに、これからも取り組んで参ります。（担当：佐藤）

会宝産業 Homepage　車買取 Homepage　会宝産業 note公式（毎週木曜日更新）　会宝産業 X（旧Twitter）

会宝産業 Facebook　車買取 Facebook　会宝産業 Instagram　会宝キッチン Instagram

ご意見ご要望はこちらまで　➡　TEL 076-237-5133　soumu@kaiho.co.jp（担当:宮村）